

## 追加質問事項

### 福島第二原発3号機使用済燃料プール冷却ポンプの停止について

1月22日に発生した福島県沖地震（マグニチュード7.4）により、福島第二原発3号機の使用済燃料プールの冷却用ポンプが1時間半以上も停止した。多くの人々が3.11事故が繰り返されるのではないかと恐怖を感じた。

東電の発表では、

5：59 地震発生

6：10 3号機使用済燃料プール冷却浄化系のポンプが自動停止〔冷却停止〕、  
3号機スキマサージタンクの水位低警報発生

7：47 ポンプが再起動〔冷却再開〕

ポンプ停止の原因は、地震によりスキマサージタンク内の水が揺れ、水位が一時的に下がったことによるとされている。

(1) 東電の説明では、地震直後ではなく11分後の6：10にスキマサージタンク内の水の揺れが激しくなったことになるが、その時には水の揺れは収まっていたと思われる。

地震直後ではなく、地震から11分後にポンプが自動停止したのか。「タンク内の水の揺れ」が原因なのか。

(2) 7：47分に動いたポンプは、Bポンプと東電は発表している。停止したAポンプは壊れて使えなかったのか。

(続報2) 東電資料 [http://www.tepco.co.jp/press/mail/2016/1338504\\_8708.html](http://www.tepco.co.jp/press/mail/2016/1338504_8708.html)

(3) 今回の地震規模で冷却装置が停止するのは、水位測定、ポンプ等に欠陥があるのではないか。

(4) 使用済燃料プールのスキマサージタンク、冷却系統は、全ての原発で同様の仕様になっているのか。